

あ ら た め て 考 え る !

# 「専守防衛」と憲法9条

敵基地攻撃能力とスタンド・オフ防衛能力とは？

2021年  
**5月22日** 土  
午後1時～午後4時(予定)

定員 500人  
開催方法 Zoomウェビナーを利用したオンライン開催  
参加方法 当日、下記URLまたは右の二次元バーコードからアクセスし、本シンポジウム案内ページに掲載する参加用URLよりご参加ください。



[https://www.toben.or.jp/know/iinkai/kenpou/event/post\\_33.html](https://www.toben.or.jp/know/iinkai/kenpou/event/post_33.html)

参加費**無料**・事前申込**不要**

漠然とした不安感に流されることなく、真に戦争の危機を防ぎ近隣諸国との平和を維持するために、「専守防衛」とはどのようなものか、どうあるべきかについて、市民の皆さんと一緒に考えていきたいと思います。

- ◆先の大戦への反省から「戦争放棄」、「戦力保持禁止」を規定する日本国憲法第9条の下で、なし崩しのように進められている防衛力(軍事力)強化は、本当に「専守防衛」として許される範囲のものなのでしょうか？
- ◆政府が主張している「安全保障環境の悪化」なる状況とは、実際にはどのようなもので、現実にはどのような事態が起こり得るのでしょうか？
- ◆日本領域内での防衛行為の範囲を超えた軍事力強化の動きは、日米同盟や集団的自衛権行使を可能とした安全保障関連法との関係で、どのような事態を招き、また近隣諸国に対しどのような影響を与えるのでしょうか？

## 第1部 クロストーク 憲法の魅力 について語ろう

●ゲスト●  
せやろがいおじさん  
(榎森 耕助さん)



## 第2部 パネルディスカッション

●パネリスト●



柳澤 協二 さん  
元内閣官房副長官補、  
NPO国際地政学研究所理事長



半田 滋 さん  
防衛ジャーナリスト、  
元東京新聞論説兼編集委員



志田 陽子 さん  
武蔵野美術大学造形学部教授

●コーディネーター● 棚橋 桂介 弁護士 (東京弁護士会憲法問題対策センター副委員長)

主催 ● 日本弁護士連合会・東京弁護士会・第一東京弁護士会・第二東京弁護士会  
お問合せ ● 東京弁護士会 人権課 TEL.03-3581-2205